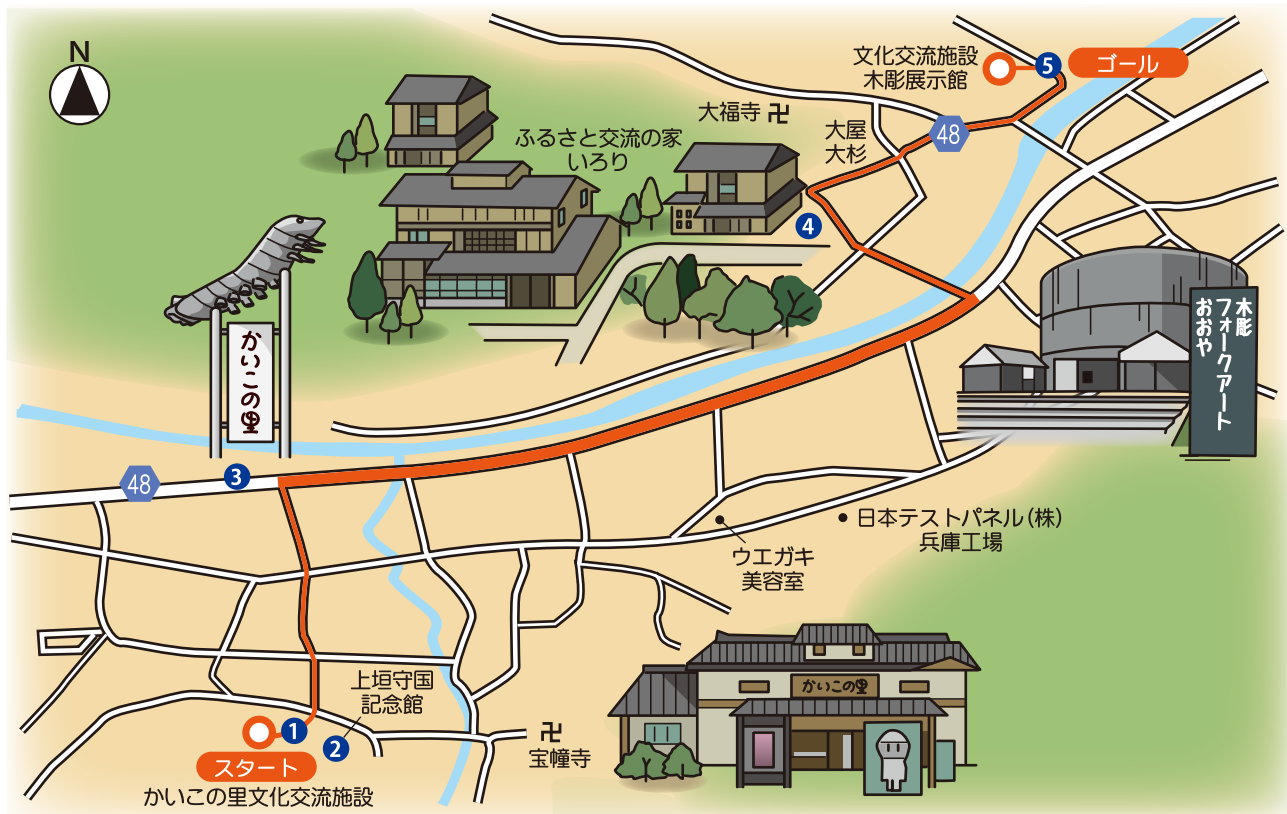


養蚕のふるさと～大杉・蔵垣～ルート

養蚕の神様と言われた上垣守国翁の善行と功労を讃えた記念館及びかいこの里交流施設をスタートし、江戸時代から昭和まで兵庫県下で最も養蚕が盛んだった町を周遊するルート。平成29年7月には、大杉地区中心部が国の伝統的建造物群保存地区に選定された。特に三階建養蚕住宅が多く造られ、全国的にみると極めて珍しい地区。このような養蚕住宅が織りなす集落景観が保たれた、養蚕業の最盛期の姿を良好に伝えた街並みが楽しめる。



- ① 起点は養蚕の神様と言われた上垣守国翁の記念館及び蚕の加工商品や体験ができるかいこの里。かいこの里では、蚕の繭で作った繭人形などの販売や、蚕の餌でもある桑の葉を使用した、桑の葉うどん、桑の葉茶などの食事ができる。上垣守国記念館は、養蚕農家住宅の伝統工法(中三階と呼ばれる三階建て住宅)を採用し建築され、ちょっとした養蚕農家体験が可能。
- ② 上垣守国記念館から県道側へ1kmほど歩くと、高さ約5mはある巨大蚕のモニュメントが出現。蚕の街としての案内役。足の短い白くて大きな蚕が空を飛んでいるようにも見える。
- ③ 巨大蚕のモニュメントを右折して約2Km歩くと、市内の小学生が描いた絵を使用した看板があり、その看板のすぐそばの橋(大町橋)を渡り約1km歩くと、ふるさと交流の家いろいろが現れる。これは、三階建養蚕住宅の1階を利用した簡易宿泊施設。食材を持ち込んで自炊ができる。
- ④ さらにしばらく進むと右手に分散ギャラリー「養蚕農家」がある。そこは、三階建養蚕住宅を利用した美術館。絵画や彫刻など、アートの展示や販売も。建物は、江戸後期の茅葺二階建の農家を大正2年に養蚕のために瓦葺三階建に改修している。カフェもあり見学だけでも可能。
- ⑤ さらに進むと、明治後期に建築された二階建の旧栴尾医院を改修した木彫の美術館がある。平成6年から始まった日本で唯一の木彫コンクール「公募展木彫フォークアート・おおや」の歴代優秀作品を常時展示している。



- 難易度：★★☆
- トイレ：かいこの里交流施設、分散ギャラリー「養蚕農家」、木彫展示館
- アクセス：・電車・バス：JR八鹿駅→停留所 上蔵垣下車
・車：かいこの里交流施設 駐車場
- 問合せ：やぶ市観光案内所
TEL:079-663-1515

距離(約)

5 km